

令和8年3月13日

鴨島小学校保護者の皆様

鴨島小学校長 阿部 敏和

「令和7年度 学校評価」について

保護者の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申しあげます。日頃は、本校教育推進のために、ご理解、ご協力を賜り、感謝申しあげます。

さて、表題の件につきまして、回答をお願いしましたところ、ご協力いただきありがとうございました。その集計結果（添付資料参照）がまとまりましたので、お知らせいたします。皆様からのご意見を参考にさせていただき、次年度の学校運営に生かして参ります。今後とも、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

（本年度も、Web上での電子媒体のアンケートと紙媒体のアンケートを併用いたしました。回答率【約73%】）

【児童・保護者アンケートからの考察並びに対応】

- 「子どもは楽しく学校生活を送っている」（保護者）は、肯定的な意見が91%、「楽しく登校ができています」（児童）は86.1%でした。100%を目指し、次年度においても、学年に応じた人権教育や道徳教育の実践、特別支援教育の推進に努めます。また、児童に自信や達成感が生まれるような取組（ポジティブ行動支援など）を学校全体で進めます。
- 引き続き、児童アンケートなどを定期的（毎月1回）に実施し、児童の悩みを気軽に相談できる雰囲気づくりとサポート体制づくりを推進します。また、学年の発達段階に応じた人権教育や道徳教育の実践、特別支援教育については意義指導など理解を深め、学校全体として自分も周りの仲間も大切にできる児童の育成を目指していきます。
- 毎月のお話の会（読み聞かせ）や図書委員会による本の紹介、朝の活動での読書活動の充実など、読書時間の確保や読書意欲の向上のための取組を行ってまいります。また、鴨島図書館との連携による取組を増やすことで、読書活動や本が好きになる児童の育成を目指していきます。
- 「あいさつができています」の項目（保護者、児童）が昨年度に比べやや低下していますが、高い評価をいただいております。次年度においても引き続き「あいさつ運動」に取り組むなど、進んであいさつができる児童が増えるよう学校全体で推進してまいります。
- タブレットの機器の更新により、「タブレットを使った授業が楽しい」「タブレットを使うと勉強がわかりやすい」（児童）の割合が昨年度に比べ高くなっています。タブレットを活用した授業を積極的に実践し、新しく追加されたドリル機能に取り組むことで、学びを深めることにつながったと考えられます。今後も、効果的な活用ができるよう教職員で研修を深め、確かな学力の定着を図ってまいります。

今後も、それぞれの項目に関して「そう思う」と実感できる児童・保護者の皆様の割合を高めていけるような取組を行ってまいります。

行事予定の早期伝達、トイレ掃除の手袋使用など、保護者の皆様にいただきましたご意見につきましては、学校で検討の上、できることから改善して参りたいと考えております。

貴重なご意見、誠にありがとうございました。他にも課題はありますが、次年度も安心・安全な学校運営に努めてまいります。今後も、鴨島小学校教育の推進にご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。